

## ■ 平成19年度「学校経営計画」、「学校経営計画具体化構想」チェックの観点

## &lt;視点-1&gt;

学校が、自校の子ども全員に育てようとしている力が明確に設定され、その力を育成するための具体的な方途が保護者、地域住民へ明確に説明できる内容になっているか。

## &lt;視点-2&gt;

知・徳・体のバランスのとれた教育活動を実施する計画と構想になっているか。

## &lt;視点-3&gt;

「生きる力を身につけた宗像の子の育成」に向け、本市の教育施策が明確に設定されているか。

- ・ 「めあて」と「まとめ」を生み出す授業改善
- ・ 読書活動の推進
- ・ 人間関係形成能力を育成する特別活動の推進
- ・ 生命について学ぶ学習の実施
- ・ 食育の推進
- ・ 中学校区小中連携事業の推進

## &lt;視点-4&gt;

計画と構想に整合性があり、教職員の経営参画意識を高める具体策があるか。

【吉武小学校】

1 学校経営計画について

(1) 全体目標と18年度の成果と課題について

全体目標は、平成18年度の成果（吉武小の強み）と課題（吉武小の弱み）や保護者・地域の願い、教師の願いから設定された、吉武小学校の子どもたち一人一人に育成する力です。

18年度の成果は表現力、思いやり、朝食や遊びとなっています。課題は、家庭学習と言葉遣い、家庭・地域との健康面での連携の3点が挙げられています。この強みと弱みから全体目標の設定が説明できるようにしておかなければならないと考えます。

特に、「ふるさとを愛する子ども」の育成との関係は、この強みと弱みだけでは見えてきません。なぜ、吉武の子どもたちに「ふるさとを愛する態度」の育成が必要なのか明確になるよう成果が課題にその理由を付加されてはいかがでしょうか。

(2) 重点目標と中期的目標（中期経営目標）との関係について

重点目標に、「自分の考えをもち、自ら進んで元気に表現する子どもの育成」①豊かな学力 ②豊かな心 ③豊かな体 が示してありますが、この目標は重点目標ではありません。

3の中期的目標は、今後3年間で達成しようとする目標のこと（中期経営目標）であり、19年度の知・徳・体のそれぞれの目標が重点目標となります。

ですから、1-（3）の重点目標と、4の19年度の重点目標の欄には、「自ら課題を明確にし、自ら学ぼうとする子どもを育てる。」「思いやりの心を持ち、自ら進んであいさつができる子どもを育てる。」「明るく元気に活動し、『早寝、早起き、朝ごはん』に自ら取り組む子どもを育てる。」を表記されると、その関係が明確になってきます。

(3) 計画の5の「目標達成のための具体策」の中に、すべての学校で取り組む内容が明確に記述されていないので付加していただきたい。

○ 重点目標「思いやりの心を持ち、自ら進んであいさつができる子どもを育てる。」を達成するための具体策の中に、「人間関係形成能力を育成する特別活動の充実」、「生命について学ぶ学習の実施」を付加してください。

2 学校経営計画具体化構想について

(1) 校長先生の学校経営計画と具体化構想は非常に整合性があります。今後は、本構想に示された各内容を確実に実施するために、誰に（担当者や組織）、どのように取り組ませるのかの具体的な計画を立てられるかよいと思います。

例： 1-（1）の「授業時数の確保」という項目を確実に実行するために、教務主任をどう機能させるのか、各担任にはどのように意識させて実施させるのか、チェックはどうするのか等の計画が必要です。

また、「基礎・基本の定着を図る授業改善の取組」の項に示された「きめ細やかな指導」というのはどういう指導をさすのか、全職員に理解させるためにどうするのか、どのように各学級で取り組ませるのか、誰が、このことの計画を立てるのかなどの計画も必要です。

今後、一つ一つの項目の確実な実施に向けた詳細な計画が立てられることが求められます。その計画を取りまとめたものが「指導計画Ⅰ」になります。そのためにも、各担当者や組織に作らせる計画の様式を統一されるとよいと考えます。

(2) 2-（2）の「生徒指導の充実と推進」のいじめ、不登校を生まない学級経営を推進するための、具体的方途として「学級活動（1）の話し合いの活動・係りの活動の充実」が明記されると、学級担任の具体的な取組内容が見えてくると考えます。

(3) 校内研修（一般研修の活用）の充実を図る具体策の項目には、「めあて」と「まとめ」を生み出す授業改善の内容を研修で明らかにすることを付加されてはいかがでしょうか。

(4) 城山中学校ブロックにおける取組の連携の項目には、吉武小学校では、この内容を推進する窓口を誰にするのか、連携事業で取り組む、学習規律の確立やあいさつ、言葉遣いを改善する取組をどのように具体化するのかなどの計画を付加されることが必要だと考えます。そうすることで、職員一人一人の共通理解が深まります。

【赤間小学校】

1 学校経営計画について

■ 校長先生の確固とした経営理念については、限られた枚数では思いを伝えきれなかったのではないかと申し訳なく思っています。

しかし、コンパクトな中にも校長先生の学校経営に掛ける熱い想いが随所に見られました。特に、「10の経営具体策」の項目には、学校長のビジョンが明確に示されていると考えます。

以下に、ご検討いただきたい内容をお示しいたしますので、宜しくお願致します。

(1) 19年度の重点目標の「ゆたかな心と規範意識の醸成」を達成するための具体策の中に、「人間関係形成能力を育成する特別活動の充実」と「生命について学ぶ学習の充実」に関する内容を付加していただきたいと思ひます。

間接的な表現ではなかなか取り組もうとしない教員も見られますので、ストレートに表現していただきたいと思ひます。

(2) 城山中学校区で推進する「小中連携」の内容を付加していただきたいと思ひます。

城山中校区では、小中学校が連携して「学習規律の確立」、「あいさつ運動の充実」、「言葉遣いの改善」に取り組むと伺っておりますが、その内容を6番の「10の経営具体策」に付加していただきたいと思ひます。

2 学校経営計画具体化構想について

(1) 校長先生の学校経営計画と整合性のある構想になっています。

校長先生の具体策を受けて、教頭としてはどの組織にどのような活動をさせるのかという構想が明確になっている項目もありますが、校長先生と同じ表記になっている項目もあります。例えば、Ⅲ 丈夫な体と共に伸びようという意志の育成を図る具体策 1外遊びの場の設定 ①学級などで体を使って遊ぶ場の設定 という内容です。

この具体策をより確実に実施するためには、※体育部（体育的行事部）に、各月の学年遊び場を設定させ、1週間に2～3度「学級遊びの日」を設定させる。各月の遊びの日については、同学年会で確認させ取り組ませる。遊びの内容については、学級で話し合わせる。 くらいに構想がなければ、校長先生のお考えが各学級で実践されません。少なくとも、構想には、<体育部に月ごとの「学級遊びの日」を設定させる。>という内容の表記が必要でしょう。そして、下線を引いた内容については体育部等の各組織に立案させればよいと考えます。

以下、このような観点から、教頭先生の構想を見直されるとより実効性の高い具体化構想になると考えます。

大切なのは、校長先生が学校経営計画に示された内容は、確実に実践しなければならないということです。

(2) 教頭先生の具体化構想は、学校長の経営ビジョンをいかに子ども一人一人にまで具体化させるのかの計画であり、教職員の経営参画意識を高揚する具体策でもあります。

ですから、一つ一つの項目を確実に実施するためにどのような組織が必要なのか、校務分組組織の見直しの必要性が生まれてきます。

また、各組織に立案させる計画の様式も統一されると良いでしょう。それを、取りまとめたものが、赤間小学校ならではの「指導計画Ⅰ」になります。

さらには、立案の段階で各部の主体的なアイデアを尊重すると、経営参画意識も生まれます。そして、何より慣行墨守の風土を改善することにもつながります。

## 【赤間西小学校】

### 1 学校経営計画について

□ 学校経営計画に示された全体目標や具体目標は、内部評価と外部評価から多面的に分析された成果（赤間西小学校の強み）と課題（赤間西小学校の弱み）に基づいて設定されたことが分かります。重点目標もこれらの目標を3年間で育成することを見通して割り出されたものであると考えます。

また、重点目標を達成するための具体策や経営の具体策にも、本市が施策として位置付けた内容についてもれなく設定してあります。

本計画に示された内容が確実に実施されることによって19年度の重点目標は確実に達成されると考えます。

■ 19年度は、福岡地区小学校特別活動研究大会の会場校としての取り組みが重点目標達成の大きな鍵になると考えます。会場校として、特別活動研究会の会員のみの取り組みにならないように全職員で特別活動（学級活動）を充実させることが肝要です。このことが、本校の子どもの育成に不可欠であるとの共通理解のもと、全校的に研究を進められることを望みます。

それは、平成元年の学習指導要領の改訂でそれまでの「学級会活動」と「学級指導」が統合されて「学級活動」が新設された意味を考えてみると分かります。

つまり、学級会活動は学級生活の向上発展を目指して、学級の諸問題を自発的、自治的に話し合い、友だちと協力して活動することを通して、集団の一員としての自覚を高め、望ましい人間関係を築く力を育成する活動です。この活動は、学級活動の内容（1）で取り扱われます。

また、学級指導とは「学級における生徒指導」のことです。健全な生活態度の育成を目指す活動です。この活動は、学級活動の内容（2）で取り扱われます。あいさつや掃除、言葉遣い、学習規律等の基本的な生活習慣の育成や望ましい食習慣の育成、健康で安全な生活態度の形成などの内容を発達段階に応じて学習します。

このことから、学級活動への統合は、子どもたち一人一人に学級集団の一員としての自覚（友だちに迷惑をかけない、友だちと助け合う）を深めさせるとともに、健全な生活態度を身に付け、自主的、積極的に学級集団の充実と発展に寄与できる個を育成するためであったことが分かります。正に、赤間西小学校の「豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子ども」そのものではないでしょうか。

もちろん、学級活動が充実してきますと児童会活動やクラブ活動、学校行事も充実してくることはご承知のとおりです。

従って、学級活動の指導計画の見直しを早急に行い、新学期早々から実践的に取り組まれるようにすることがポイントであると考えます。

### 2 学校経営計画具体化構想について

校長先生の経営計画と整合性のある構想になっています。

構想は、計画に示された内容が確実に実施されるように、誰が（担当者か組織）何をするのかを明確にしておかなければなりません。その視点から、今一度、構想の一つ一つの項目を見直してください。

先にも述べましたが、赤間西小学校の最大の強み（学校活性化のきっかけづくり）は、福岡地区の特別活動研究大会の会場校であるということです。学級活動を中心とした取り組みを進めることによって、確実に重点目標は達成されます。

「対話する力」の育成を校内研究で研究してこられていますが、これまでの研究を礎として学級活動でも十分に取り組むことができると考えます。

「対話する力」というどうしても話し合いの場面のみ研究になってしまいがちですが、学級の諸問題を解決するための対話、健全な生活態度を自己決定するための対話と考えれば、学級活動の内容（1）（2）のねらいを踏まえた研究が可能となります。

もちろん、対話力の育成は国語科をはじめとするすべての教科で育成しなければ身につけません。そこで培った力を学級活動の話し合い活動で発揮させるのだという考えが大切です。

この強みを前面に出した具体化構想の作成が求められます。そうすることによって、職員の経営参画意識が高まり、学校の特色化が図られます。

## 【河東小学校】

### 1 学校経営計画について

□ 学校が、どのような子どもたちを育てようとしているのか簡潔にまとめられている計画だと考えます。本市が施策として取り組もうとしている内容についても明確に位置付けてあります。今後は、重点目標達成のための具体策や経営の具体策に示された内容が確実に実施されるようにすることが肝要です。

また、河東コミュニティとの連携は、本校の特色化の一つであると考えます。地域の教育力の向上を促す観点から意義あるものだと考えます。

■ 計画の中に「自己目標の設定と自己評価の実施に係る内容」を、経営の具体策の中に付加する必要があると考えます。学校長の経営ビジョンに対して職員一人一人に、「自分は、目標達成のために〇〇をする。」という自己目標を立てさせ、その目標の達成過程で管理職が大いに関わるといったシステムが構築されたとき、職員の経営参画意識は高まると考えます。

### 2 学校経営計画具体化構想について

□ 具体化構想は、学校長が簡潔に示した経営ビジョンをどのように実現するのかという方策を明らかにした計画です。

その観点から貴校の具体化構想をみると、整合性のある内容であり、しかも、誰が、いつ行うのかが明確に示されています。

■ 今後、本構想に示された内容が確実に実施されるようにするために以下のことについて検討ください。一つは、校務分掌組織の見直しです。

これまでの校務分掌を「学び方を身に付けた子どもの育成プロジェクト」、「明るく元気にあいきつできる子どもの育成プロジェクト」、「元気に遊ぶ子どもの育成プロジェクト」、「河東中学校との連携プロジェクト」のようなプロジェクト形式にされたいかがでしょう。各プロジェクトには、部長を置いてライン化を図ることもできると考えます。また、これまでの分掌を整理統合して一人一役を基本にすることで、教師の多忙感も防げると考えます。さらに、それぞれの担当者のアイデアを十分に出させるようにして、ボトムアップで学校経営に関わらせるようにすることで、職員の経営参画意識も高まると考えます。

二つめは、具体化構想に示された内容の学年化、学級化を図ることです。

具体的には、学力向上学年プランと学年経営案、学力向上学級プランと学級経営案をそれぞれ一本化にするということです。

確かな学力の定着や向上を図る授業づくりや授業のパターン化、読書活動の推進、英語活動の充実、道徳教育や学級活動の充実、食や生命について学ぶ学習などの計画は、発達段階に応じて作成、実施されてはじめて学級の子どもたち一人一人に具現化されると考えるからです。そのためにも、その様式の工夫が求められます。そうすることで、校長先生の示された経営ビジョンが各学級に浸透することになるとともに、学年早々の学年・学級事務の繁雑さも解消されるのではないかと考えます。

## 【南郷小学校】

### 1 学校経営計画について

- 平成18年度の成果と課題が、客観的なデータに基づいて分析してありますので、南郷小学校が育成しようとする子ども像、「課題をもって、意欲的に追究する子ども」、「ともに認め合い、高めあう子ども」、「健康で生き生きと活動する子ども」が設定された背景が明確です。本市が施策として取り組もうとしている内容についても明確に位置付けてあります。今後は、重点目標達成のための具体策や経営の具体策に示された内容が確実に実施されるようにすることが肝要です。

■ 知育に係るめざす子ども像は、「課題をもって、意欲的に追究する子ども」ですが、この子ども像を達成するための今後3年間の重点目標は、19年度「数と計算」領域を・・・、20年度「算数の学び方・・・」、21年度「自ら課題を見つけ、・・・算数の学習の充実」と、算数科に焦点化された重点目標になっています。3年後のめざす子ども像と知育に係る重点目標との関係を分かりやすく説明できるようにしておいて欲しいと考えます。

■ 経営の具体策に示された中央中校区の小中連携の取り組みについては、早急に具体的な連携の内容を決定して欲しいと考えます。義務教育9カ年間で育成する子ども像から、具体的な取り組みの内容を割り出されると良いと考えます。

また、教頭先生の具体化構想との整合性を保つためにも、「組織運営の充実と組織の効率化を図る。」、「職員の経営意識を高める。」、「子どもの変容につながる校内研究の充実」、「学校評価システムの構築」などの項目は、明記された方がよいと考えます。

### 2 学校経営計画具体化構想について

- 具体化構想は、学校長が簡潔に示した経営ビジョンをどのように実現するのかという方策を明らかにした計画です。

その観点から貴校の具体化構想をみると、整合性のある内容であり、しかも、誰が、いつ行うのが明確に示されています。

特に、学力向上プランの学年化という構想は、素晴らしいでなくてはと考えると、学力ばかりではなく、豊かな心や健康やかな体の育成に関わる内容についても、具体的な取り組みを記入するような様式を示すことで、学力向上学年プランと学年経営案、学力向上学級プランと学級経営案がそれぞれ一本化する事になり、新年度早々の学年や学級事務の繁雑さが解消されます。

■ II-2に示された、「道徳や特別活動の実施確認をする。」の項は、確認だけではなく、道徳の時間の指導や学級活動等の内容の充実が図られるようなでだてを講じられると良いと考えます。例えば、学級活動であれば、「学級生活の向上と発展を目的とした話し合い活動や学級生活を楽しく豊かにする等の活動に発達段階に即して取り組ませる。」という構想を立て、学級活動部や特別活動部に発達段階に即した計画を立てさせるようにすることが大切です。

■ 今後、本構想に示された内容が確実に実施されるようにするために、校務分掌組織の見直しをされてはいかがでしょうか。

これまでの校務分掌を「確かな学力向上プロジェクト」、「豊かな心育成プロジェクト」、「健康やかな体育プロジェクト」、のようなプロジェクト形式にされたいかがでしょう。各プロジェクトには、部長を置いてライン化を図ることもできます。また、これまでの分掌を整理統合して一人一役を基本にする係を設定することで、教師の多忙感も防げると考えます。(職員数の少ない学校での校務分掌の組織の在り方は他の学校と同じようにはいきません。)さらに、それぞれの担当者のアイデアを十分に出させるようにして、ボトムアップで学校経営に関わらせるようにすることで、職員の間も経営意識も高まると考えます。

そして、各組織に立案させる計画の様式も統一されると良いでしょう。それを、取りまとめたものが、南郷小学校ならではの「指導計画I」になります。このことは、慣行墨守の風土を改善することにもつながると考えます。

## 【東郷小学校】

### 1 学校経営計画について

- 学校経営要綱には、校長先生の学校経営に対するビジョンが明確に示されています。職員に対する、校長の熱きメッセージも伝わっているのではないのでしょうか。

□ 18年度の「経営構想」に示された「子どもの姿」「教育活動」「組織・運営」「教員研修」に基づいて成果と課題が割り出されていますので、19年度により一層充実させなければならない「強み」と、改善しなければならない「弱み」が明確になっています。

そのことが、19年度の重点目標達成のための具体策や経営の具体策の中に位置付けられていると考えます。

■ (こころ)目標の②体験活動と道徳の時間の関連強化の項に、目標を共有する活動を通して望ましい人間関係を築く体験としての学級活動を付加していただきたいと思えます。

子どもたちの人間関係を築く能力の不足が引き起こす様々な問題行動への対応として、本市が教育施設の方針の中に位置付けている内容です。

■ 要綱の5ページに示された「小中連携教育の概念図」については、中央中校区の連携の具体策「発達段階に応じた学びの構築」として、是非、提案いただきたいと思えます。

### 2 学校経営計画具体化構想について

- 具体化構想は、学校長が簡潔に示した経営ビジョンをどのように実現するのかという方策を明らかにした計画です。その観点から貴校の具体化構想をみると、整合性のある内容です。

学校長の経営ビジョンを、職員一人一人に共通理解させようと細かな計画が立てられていると考えます。

□ この構想到示された内容を確実に実施させるためには、誰にどのような計画を立てさせるのが、明確になっていなければなりません。その観点から貴校の構想をみると、いつ、どこで、誰が実施するのが明確に示されています。

■ 思いやりのある子どもを育てる具体化構想の中に、「望ましい人間関係を育成する学級活動の充実」を付加してください。学級生活の充実と発展を共通の目標にして、友だちと役割を分担して学級の諸問題を解決する活動を通して、子どもたちの望ましい人間関係は醸成されていきます。道徳で一人一人の心を耕し、学級活動で集団の一員としての自覚(友だちに迷惑をかけない、友だちと協力して活動する)を深めることによって、ともに学び、ともに伸びる喜びを感じるやさしい子どもが育成されると考えます。

■ 今後は、各組織に(東郷小学校の校務分掌は、経営構想を具体化する3部構成になっていたのではないかと思います)どのようにして実施するのかのアイデアを出させ、立案させられてはいかがでしょうか。そのことで、職員の学校経営参画意識が高まるものと考えます。また、18年度の組織・運営の課題も解決されるのではないのでしょうか。そのためにも、各組織等に立案させる様式も統一したものを活用されてはいかがでしょうか。その計画を一つにまとめたものが、東郷小学校ならではの「指導計画I」になると考えます。

【日の里東小学校・日の里西小学校・日の里中学校】

1 学校経営計画について

□ 小中一貫教育モデル校として、新しい時代の学校に求められるシステムづくりを進めていただいていますことに感謝申し上げます。本経営計画は正に、小中一貫教育の中核を担うものです。今後、本市が小中一貫教育を拡大するとき、この経営計画が他の学校区のバイブルになっていくと考えます。

□ 本計画には、小中一貫教育の大きな課題であった前期、中期、後期の各期の発達段階に応じた教育活動の充実が明確に示されています。特に、4の19年度の重点目標（1）に示された重点的にめざす児童生徒像は、各期における教育活動の目標を明確に指し示していると考えます。

■ 今後は、この目標解決に向け、各期の担当が具体的な学習像を持ち、子どもたち一人一人に具現化していくことが求められます。また、小中一貫教育は、学校だけの取り組みで実現するものではありません。地域の子どもたちを地域とともに育てるといった仕組みの強化が求められます。そのためにも、「家庭・地域連携の推進」の項に示された、「交流する関係づくり」、「協働する体制づくり」を是非とも推進していただきたいと考えます。地域の方々には、教育の中身を説明するだけでは、なかなか小中一貫教育のよさを理解していただけません。子どもと地域、地域と学校、保護者と保護者などの具体的な交流を通して、はじめて気付かれることもあると考えます。普段着の交流が生まれるような取り組みをお願いします。

■ 一貫教育推進校は、3校が同一の目標達成に向けて教育活動を推進します。これまでは、1校だけで考えれば良かったことを3校が足並みを揃えて実施していかなければなりません。そのためにも、一貫教育のシンクタンクである校務会議の決定事項が各校に、各学級に速やかに、確実に降りていく必要があります。職員会議を開いて共通理解を図ってきたこれまでの学校文化を改め、いかに少ない会議で確実に実施させるかが問われてきます。そのようなシステムが新しい時代の学校に求められます。ただ、それだけでは職員の経営参画意識も高まりませんので、トップダウンとボトムアップのバランスをいかに保つかも大きな課題となってきます。そのことを、解決する鍵が、経営計画具体化構想に示されると考えます。

2 学校経営計画具体化構想について

□ 学校経営計画と整合性のある具体化構想です。

いつ、だれに、どのように行わせるのかも明確に示されています。

■ 今後は、本構想に示されたことが確実に実施されるようにすることが肝要です。前にも書きましたが、本構想の内容や校務会議の内容が確実に実施されるようにするためには、スタッフとラインを明確にしなければならぬと考えます。そのためにも、各部の部長の権限や職務内容も明確にすることが必要です。また、本構想に示された内容を確実に実施するためには、どのような組織が必要なのか、学校間の連絡調整をどのように図らせるのか、学校内ではどのように具体化させるのかなどの課題も解決しなければなりません。

これらの課題を解決するためには、各部の主體的なアイデアも必要になってきます。その時、立案させる分掌計画の様式を統一されてはいかががでしょう。その、計画を取りまとめたものが「指導計画Ⅰ」になるようにするのです。

■ 19年度は、前期、中期、後期の各担任が各期の児童生徒の発達段階に応じた教育活動を推進するような仕組みも求められます。

そこで、各期の教育活動が充実するよう「前期学力向上プラン」「中期学力向上プラン」「後期学力向上プラン」的なものを統一して作成させてみていいのではないのでしょうか。この時、前期は1年生から4年生と担当者が多いので、前期前期部会、前期後期部会のような組織編成も必要になるかもしれません。

【自由ヶ丘小学校】

1 学校経営計画について

□ 学校経営計画ならびに具体化構想を最も早く提出くださり有り難うございました。

気付きましたことを直接計画に書きましたのでご検討ください。

「じゅうがおか」を頭文字として示された子どもに託す本年度のめあては、非常に分かりやすく親しみやすいものだと考えます。是非とも、子どもたちが暗唱するくらいに根付かせていただきたいと思えます。

2 学校経営計画具体化構想について

□ 校長先生の経営計画と整合性のある経営構想になっています。誰が、いつその仕事をすのかの構想も明確になっています。

今後は、構想に示された内容が確実に実施されるようにしなければなりません。そのためにも、校務分掌組織の見直しをされてはいかががでしょうか。

これまでの校務分掌を「まなびを育てるプロジェクト」、「こころを育てるプロジェクト」、「からだを育てるプロジェクト」、のようなプロジェクト形式にされたらいかががでしょう。各プロジェクトには、部長を置いてライン化を図ることもできます。また、これまでの分掌を整理統合して一人一役を基本にする係を設定することで、教師の多忙感も防げると考えます。さらに、それぞれの担当者のアイデアを十分に出させるようにして、ボトムアップで学校経営に関わらせるようにすれば、職員の経営参画意識も高まると考えます。そして、各組織に立案させる計画の様式も統一されると良いでしょう。それを、取りまとめたものが、自由ヶ丘小学校ならではの「指導計画Ⅰ」になります。このことで、慣行墨守の風土を改善することにもつながると考えます。

【自由ヶ丘南小学校】

1 学校経営計画について

□ 校長先生の経営ビジョンが明確に示されていると思います。特に、「教育目標に関する見解」に書かれた、①学校経営ビジョンの明確化と・・・②地域・家庭・様々な教育機関との・・・という内容については、一貫してその視点からの経営計画が示されています。特に、3つのプロジェクトに作成させる3プランは、経営ビジョンに対する共同化を図る効果的な取り組みだと考えます。

■ 中期的目標のキーワードに示された各年度の内容が重点目標になるのではないかと考えますが、徳の育成に係る重点目標の内容がどのような関係になっているのか説明できるようにしておいてください。また、本市の教育施政方針の中に盛り込んでいますので、「生命について学ぶ学習の実施」についても明記していただきたいと思います。

2 学校経営計画具体化構想について

□ 校長先生の経営計画と整合性のある構想です。誰に、いつまでに仕事をさせるのかの構想も綿密に立てられています。

■ 今後は、この構想に書かれた内容を確実に実施させることが肝要です。校長先生のビジョンに基づきながらの方向性を示しながらも、各プロジェクトに主体的に計画を立てさせることによって職員の経営参画意識は高まってくると考えます。また、各担当者が立てる計画の様式を統一するとともにそれを取りまとめ、自由ヶ丘南小学校ならではの「指導計画Ⅰ」を作成されたらよいと考えます。

【河東西小学校】

1 学校経営計画について

□ 中期目標に示された「かとうにし」というめざす子ども像は、非常に分かりやすく親しみやすいものです。子どもや保護者、教師一人一人に確実に根付くよう事あるごとに意識付けをお願いします。

■ 特別活動の充実の項にピアサポートが示されていますが、学級活動の充実によって人間関係形成能力を育成する計画へと変更をお願いします。学級活動の(1)(2)の内容の充実を図れば、ピアサポートや構成的エンカウンター等の取り組みを盛り込む時間はないと思います。また、本市の教育施政方針にも盛り込んだ、「生命について学ぶ学習の実施」という項目の付加をお願いします。さらに、河東中学校区における小中連携の具体的な中身についても早急に決定され、計画の中に盛り込んでいただくようお願いします。

2 学校経営計画具体化構想について

□ 校長先生の経営計画と整合性のある構想です。誰に、いつまでに仕事をさせるのかの構想も綿密に立てられています。

■ 今後は、この構想に書かれた内容を確実に実施させることが肝要です。校長先生のビジョンに基づきながらの方向性を示しながらも、各担当者に主体的に計画を立てさせることによって職員の経営参画意識は高まってくると考えます。また、各担当者が立てる計画の様式を統一するとともにそれを取りまとめ、河東西小学校ならではの「指導計画Ⅰ」を作成されたらよいと考えます。

■ ピアサポートによる特別活動の充実が示してありますが、子どもたちの人間関係はトピック的な取り組みでは育まれません。目標を共有する活動の中で友だちのよさに気付かせる取り組み(学級活動の内容(1)です。)の繰り返しによって醸成されるものです。また、生命について学ぶ学習の実施についても付加をお願いします。

## 【玄海小学校】

### 1 学校経営計画について

本市が教育施策として取り組む内容が計画の中に明確に位置付けられています。

校長先生が、学校改善を図るための改善策として挙げておられる「校務分掌の機能化」は、職員数の少ない学校では大切な視点だと考えます。学校長の経営ビジョンの共通理解が図られ、職員一人一人が確実に実施するような校務分掌組織が求められるでしょう。そのためにも、計画に示された【生活の基礎・基本】【自己表現する力】等のくくりで委員会や部を構成するよりも、前任校のような「知の育成に関わるプロジェクト」「徳の育成に関わるプロジェクト」「体に関わるプロジェクト」を組織されたいかがでしょう。そして、今の分掌を整理統合し、一人一役を基本にすれば職員の主体的な経営参画意識も高まると考えます。

また、玄中校区の連携事業の具体的中身も早急に決めていただくようお願いします。

### 2 学校経営計画具体化構想について

校長先生の経営計画と整合性のある構想になっています。

今後は、本構想の内容が確実に実施されるように、誰が、いつ、どのように仕事をするのかを明確にする必要があります。特に、校務分掌組織の見直しはポイントだと考えます。今の校務分掌は、学校長の経営ビジョンの具体化に適しているのか？小規模校としての校務分掌組織になっているのか？職員の専門性等が生かされるものになっているのか？などの観点から見直す必要はないでしょうか。前にも書きましたが、プロジェクト方式の分掌も検討ください。そして、一人一役を基本にして、それぞれに責任を持たせたり主体的にアイデアを出させたりするような仕組みがあれば職員の経営参画意識は高まるのではないのでしょうか。

## 【玄海東小学校】

### 1 学校経営計画について

学校経営計画は、CRTや児童へのアンケート、市の学習意識調査に基づいて成果と課題が明確に分析されています。重点目標もこの分析から明確に設定されています。重点目標を達成するための具体策に、市の施策も適切に位置付けられています。これらの重点目標を確実に実施するためにも、今の校務分掌組織を整理統合し、「思いやりのある子ども育成部」「よく考える子ども育成部」「たくましく元気な子ども育成部」のような部やプロジェクトによる組織を編成されてはいかがでしょう。そして、各部の担当者から主体的に立案させるボトムアップのシステムをつくることで職員の経営参画意識をたかめることができると考えます。また、玄中校区の連携事業の中身を早急に決定していただくようお願いします。

### 2 学校経営計画具体化構想について

非常にきめの細かい構想になっていると思います。学校長の経営ビジョンとの整合性をどのように持たせているのか説明ができるようにしておいてください。

今後は、本構想に示された内容が確実に実施され、子どもたち一人一人をめざす姿にまで高めていくことが肝要です。そのためにも、各担当者にアイデアを出させるようなボトムアップの仕組みをつくるとともに、職員の経営参画意識を高めることが求められます。

また、職員に立てさせる計画の様式を統一し、それを取りまとめたものが「指導計画Ⅰ」となるようにされたいかがでしょう。

## 【地島小学校】

### 1 学校経営計画について

簡潔な表記をしていただいておりますが、もう少し説明していただく文言が必要だと考えます。例えば、1の学校の教育目標の(2)の具体目標は、めざす子ども像にあたります。この目標を、今後3年間で割り出したものが、中期的目標になります。知に係る目標の「自ら学び最後までがんばる子ども」を3年間で割り出すと、19年度が「読書力・情報処理力」、20年度が「交流力」、21年度が「思考力」となっていますが、なぜこのような中期的目標が設定されたのかももう少し説明していただくと、校長先生のお考えが伝わるものと考えます。また、19年度の重点目標に、③めあてとまとめのある授業という表記がありますが、これは知の育成に係る重点目標を達成する方策になります。さらに、5の目標達成のための具体策の中に、市の施策として必ず盛り込むようお願いした、「人間関係形成能力を育成する学級活動の充実」、「生命について学ぶ学習の実施」を付加するようにお願いします。

学校の教育目標を達成する経営の具体策には、重点目標を達成する具体策にあたるものも含まれていますので、整理をお願いします。

教頭先生がつくられる「学校経営計画具体化構想」と整合性を持たせるため今一度、知、徳、体のめざす子ども像の育成に係る来年度以降の重点目標とその解決策について協議を深めていただきたいと思います。このままでは、校長先生の経営ビジョンやそれを具体化する構想の関係が不明確です。

## 【大島小・中学校】

### 1 学校経営計画について

小中一貫教育推進校として精力的に、その調査研究に取り組んで頂いていることに感謝申し上げます。経営計画の中に、「・・・きめ細かな一貫教育を行う。」という表記がありました。正に、このことが大島小中一貫教育の特色ではないかと考えます。このきめの細かさは、計画の中に示された、「施設一体型を生かした・・・」「小中は一つという意識の醸成・・・」「一貫校務分掌の機能化・・・」「前期・中期・後期の経営充実」を確実に実施することによって実現すると思えます。

本計画は、今後の大島小中一貫校として解決しなければならない課題を真正面からとらえられた非常に分かりやすいものになっていると思えます。そのためにも、可能な限り、小中の教職員が一つになって学校を運営するという軸と、地域の教育力を効果的に活用するという軸を外さないようにすることが肝要だと思います。

また、目標達成のための具体策の中には、本市が施策として必ず設定するようにお願いした内容が明確に盛り込んであります。このことについても、大島の実態に即しながら大島ならではの教育活動が実現するようお願いいたします。

さらに、職員の意識は校務分掌組織の職務遂行ばかりではなく、前期・中期・後期の子どもたちの発達段階に即した教育活動を推進することによっても高まります。そのために、各期の子どもたちに育成する、「大きな心」、「しっかり学ぶ」、「まけない体」目標を設定されてはいかがでしょうか。

(例)【大きな心】

- ・誰にでも大きな声であいさつし、恥ずかしがらずに話す前期の子ども
- ・時と場に応じた声であいさつし、はきはきと自分の考えを話す中期の子ども
- ・学校内外で気持ちよくあいさつし、明確に自分の意志を伝える後期の子ども

### 2 学校経営計画具体化構想について

学校経営計画と整合性を考えた構想になっています。今後は、本構想に示された内容を確実に実施し具現化を図ることが肝要です。そのためにも、次年度の重要課題である、「校務分掌の一本化」を目指さなければならないと考えます。そこで、校務分掌組織を次の視点から見直されてはいかがでしょうか。

視点-1：重点目標を達成するための職務の洗い出し。

少人数構成だから、網羅的な組織よりもプロジェクトや部の編成が効果的かもしれない。 (例)「大きな心育成部」「しっかり学ぶ力育成部」「負けない体育育成部」

視点-2：各部、各担当者の職務内容の明確化

各担当者が、重点目標を達成するためにどのような仕事をすべきか、その職務内容を明確に示します。(いつ、どこで、何を)

視点-3：小中の教員が同一部に所属する編成。

可能な限り、小中の教員で部を編成し、「子どもを育てる具体策案」を立案させると、職員の小中協働意識と経営参画意識は高まります。

視点-4：大島小中学校ならではの「指導計画I」の作成

各部の各担当者が立案する、「子どもを育てる具体策案」の様式を統一し、それをとりまとめ「指導計画I」とします。



【城山中学校】

1 学校経営計画について

平成18年度の成果と課題が簡潔に述べてあります。更に、学力検査や学習意識調査の

結果も示されると、より客観的な課題が見えてきます。

特に、課題として示されている4点の、(1)生徒指導体制の共通理解 (2)基本的な生活習慣の確立 (3)校内研修会の有効活用 (4)生徒、保護者との信頼関係) 不十分な状態がなぜ起こるのか、その原因を徹底的に洗い出される必要があると思います。

例えば、生徒指導体制で全体確認したにもかかわらず十分にできないのは、どこに問題

があるのかを管理職、教務主任、担当者、学年主任、担任等が多面的に洗い出します。体制そのものが悪いのか？指示系統が悪いのか？学年組織が悪いのか？等です。そうすれば必ず不十分さの原因が明らかになり、その原因を取り除く方策を立てられます。是非、4つの課題の原因究明をお願いします。

また、4 19年度の重点目標の欄には、3 中期的目標の(1)~(3)の①19年度の目標を付加されるとよいと考えます。さらに、小中連携事業については、連携の柱を4校で協議し内容を付加されるようお願いいたします。

2 学校経営計画具体化構想について

「学校経営推進構想」になっていますが、本年度から、学校長の重点目標を具体化する計画という立場を明確にするために、「学校経営計画具体化構想」の作成をお願いします。そのため、校長先生が示された学校経営計画の4 19年度の重点目標を達成するための具体策を校長先生と教頭先生で見直しをされ、その項目の一つ一つを誰に(担当者・組織)、いつ、どのように仕事をさせるのかを明らかにした「具体化構想」を作成されるといいと考えます。今のままでは、学校経営計画との整合性が見られません。

具体的には、<主要な活動内容>が<重点目標具体化構想>となり、「組織・サービス・研修(指導力向上)」の項目を、知育に係る目標「学習規律の確立を図る」として、学習規律の確立を図る組織的な計画や地域や保護者の教育力を活用した計画を構想します。以下、徳育、体育に係る重点目標の具体化構想も同様に立てられるとよいでしょう。

また、子ども達の「礼儀や他人を思いやる心の育成」には、生徒の自発的・自治的活動が大きな効果があります。そのために、学級活動や生徒会活動の充実がポイントになります。子ども達が、自ら進んでよりよい学級や学校の生活を創造する力の育成が、子ども達の人間関係や社会性を育成します。全国的にも、特別活動の充実で子どもの荒れを乗り越えた学校の事例が多数ありますので、ご検討いただければ幸いです。

【中央中学校】

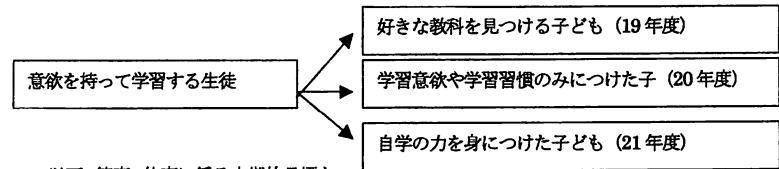
1 学校経営計画について

本年度から、学校長の経営ビジョンが子ども達一人一人に浸透するように、「学校経営計画」、「学校経営計画具体化構想」を作成してもらうようにしました。

そのために、簡潔で明瞭な学校計画が必要です。

この観点で、本計画を見てみますと、2の教育目標を具体化する像の(1)めざす生徒像、「意欲を持って学習する生徒(知)」、「自他を大切にし、思いやりのある生徒(徳)」、「健康で実践力のある生徒(体)」が、中央中学校が目指す生徒像になります。

この目指す生徒像を、19年度~21年度の3カ年間で割り出したものが、4の中期目標の(1)(2)(3)の各年度の目標になります。これが、その年度の重点目標になります。具体的には、次のような構造になります。



以下、徳育、体育に係る中期的目標を

設定願います。このとき、育てる子ども像として標記していただくようお願いいたします。

次に、5の19年度の重点目標は、4の(1)(2)(3)の19年度の目標がそのまま重点目標になります。

そして、6の目標達成のための具体的な取り組みは、19年度の知、徳、体の重点目標を達成する具体策として計画を立てます。

| 19年度の重点目標                      | 重点目標達成の具体策   |
|--------------------------------|--|
| 知の育成に係る目標<br>※19年度の重点目標を表記します。 | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |
| 徳の育成に係る目標                      | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |
| 体の育成に係る目標                      | <input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/><br><input type="checkbox"/> |

この重点目標を達成するための具体策の項目一つ一つを誰が、いつ、どのように実施するのかを表記したものが具体化構想になります。

2 学校経営計画具体化構想について

前述しましたように、一度、校長先生の重点目標とその目標を達成するための具体策を確認していただき、学校経営計画との整合性を保っていただきたいと思います。

教頭先生の構想は、誰が、いつ、どのように実施するという項目で非常に分かりやすいものになっていますので、是非とも重点目標を具体化する構想として見直しをお願い致します。

## 【玄海中学校】

### 1 学校経営計画について

校長先生の学校経営計画は、「人権感覚育成モデル校」として第2年次に、学校が何をやるのかが明確に表記してあると考えます。

特に、組織運営や教育活動、教職員の資質の向上と研修の充実の欄に示された内容は適切な内容であると考えます。

ただ、本市が全学校に実施するように依頼した、「めあてとまとめのある授業への改善」、「読書活動の推進」、「人間関係を築く力を育成する特別活動の充実」、「生命について学ぶ学習の実施」、「食育の推進」については、どの部分と重なるのか説明ができるようにお願いします。

例えば、組織運営の欄の、「研究主任を中心とした、校内研究組織の充実と教職員の実践を行う。」という部分で、「めあてとまとめのある授業への改善を図る。」、また、教育活動の「生徒一人一人が、自らが一人の人間として大切にされていると実感を持てる、教材の工夫改善に努める。」というところで、人間関係を築く力を育成する特別活動（学級活動）を充実する。というような説明です。宜しくお願いします。

次年度は、人権感覚育成モデル校としての研究の充実を図ることで、子どもを育てる取組や組織運営の活性化が図られます。そのため、校長先生のビジョンを確実に実施する学校経営計画具体化構想が必要となります。

### 2 学校経営計画具体各構想について

具体化構想は、校長の学校経営計画を確実に実施するためのものです。ですから、校長先生の計画と教頭先生の構想は整合性がなければなりません。

貴校の構想を見ますと、人権感覚育成モデル校の二年次という学校の置かれた立場と、「組織運営」、「教育活動」、「環境整備」、「教職員の資質の向上と研修の充実」という項目は整合性が保たれています。

ただ、各項目の内容を揃えられる必要があると考えます。

例えば、組織運営の欄の「玄海中学校人権感覚育成モデル校事業実行委員会の開催を定期的実施する。」という項目を1にして、そのための具体策を述べていくようにされるといいと思います。そのことで、玄中の19年度の学校経営が焦点化されてきます。

さらに、教頭先生がお書きになっておられるように、誰に、いつ、どのようにして具体化させるのかの計画も必要です。

そのためにも、現在の校務分掌組織が「人権感覚育成モデル校」としてふさわしいものか否か、一度、再検討していただくことも大切です。

## 【自由ヶ丘中学校】

### 1 学校経営計画について

平成18年度の成果と課題が簡潔に述べてあります。更に、学力検査や学習意識調査の結果も示されると、より客観的な課題が見えてきます。

特に、課題として示されている4点の不十分な状態がなぜ起こるのか、その原因を徹底的に洗い出される必要があると思います。

例えば、自由ヶ丘中学校では、学力向上および授業改善に関する取り組みの充実については組織的に取り組まれてこられました。確かに、スタッフは変わっていますが、今まで増われてきたものがなぜ引き継がれないのか、それは、変わったスタッフに問題があるのか、それともシステムに問題があるのか、等です。どこの学校でも抱える課題ではあるかもしれませんが、ぜひ、課題の原因究明をお願いします。

3の中期的目標ですが、これは、3年間を見通した各年度の到達目標になります。つまり、2にあります具体目標と3の21年度の目標は同じになり、これを毎年どこまで達成するのが19,20年度の目標となります。

5の目標達成のための具体策ですが、(2)の徳の育成に係る目標の具体策に「生命」について学ぶ学習についての取り組みの付加をお願いします。

また、「学校の教育目標を達成する経営の具体策」、たとえば、教科部会の機能化を図るための方策を明記されたいかがでしょうか。特に、小中連携については、この欄に位置づけていただき、どのような観点で推進するのかが明記をお願いします。

### 2 学校経営計画具体化構想について

本年度から、校長の重点目標を具体化する計画という立場を明確にするために、「学校経営計画具体化構想」の作成をお願いしています。そのため、校長先生が示された学校経営計画の419年度の重点目標を達成するための具体策を校長先生と教頭先生で見直しをされ、その項目の一つ一つを誰に(担当者・組織)、いつ、どのように仕事をさせるのかを明らかにした「具体化構想」を作成されるといいと考えます。今のままでは、学校経営計画との整合性が見られない項目があります。

たとえば、「すべての学習についてのガイダンスを実施する」ためには、どのような方策をとるのかが明記されたいかがでしょうか。

また、「学校経営の充実に向けた具体策」は、学校経営計画の「学校の教育目標を達成する経営の具体策」を具現化されたものになります。校長先生と協議の上、ご検討いただければ幸いです。

## 【河東中学校】

### 1 学校経営計画（学校経営要綱）について

学校が、どのような子どもたちをどのようにして育てようとしているのかを簡潔にまとめられている計画だと考えます。特に、「Ⅲ 本年度の重点構想図」は、具体的目標を達成のための方策を焦点化されたものだと思います。

以下に、ご検討いただきたいことを書かせていただきます。

□ 河東中学校が育成しようとする子ども像、「自ら考え、自ら学ぶ生徒」、「礼儀正しく、進んで行動する生徒」、「健康で、心豊かな生徒」を設定された背景を平成18年度の成果と課題として明記してください。河東中学校では、生徒による授業評価や保護者による評価については、市内の小中学校の中では先んじて実施されてこられましたので、そのデータの蓄積は十分にあると思われます。ぜひ、そのデータを活用されたいかがでしょうか。

□ 今回提示させていただいた学校経営計画では、「知」「徳」「体」でめざす子ども像を設定し、これを中期的目標としてさらに具体化していただくことによって、先生方に対し、今年度の重点目標の浸透を狙っています。

そこで、校長先生がめざす生徒像をさらに具体化されたいかがでしょうか。

たとえば、自ら考え自ら学ぶ生徒像を以下のように設定し、これを各年度の重点目標とすることが考えられます。

- ・めあてを持ち、自分の考えを自信を持って発表することができる生徒
- ・めあてを持ち、自分の考えを積極的に発表することができる生徒
- ・めあてを自分で設定し、自分の考えをわかりやすく発表することができる生徒

□ 本年度の重点目標及び本年度の重点構想図のなかに、「体」に関する目標と方策の明記をお願いします。また、市が全校で取り組んでいただくようお願いした内容についても、どの部分と関連しているのか説明できるようにお願いします。

たとえば、**「学力の向上」→読書活動の推進**

- ・**「心の教育の充実」→人間関係形成能力を育成する特別活動の効果的推進**  
生命について学ぶ学習の推進

- ・小中連携の取り組み

### 2 学校経営計画具体化構想について

校長先生の経営計画と整合性のある構想です。誰に、いつまでに仕事をさせるのかの構想も綿密に立てられていますが、具体化されているかという視点で再度見直しをお願いします。

たとえば、1-②は、どのような取り組みをするのが良くわかりませんが、2-③の「教師と生徒が触れ合うための時間を確保する」は、校長先生の経営計画と同じレベルになっています。そのために、生徒指導主事にどのような働きかけをするのかを明記されたいかがでしょうか。（学期に1度の相談週間の設定等）

今後は、この構想に書かれた内容を確実に実施させることが肝要です。校長先生のビジョンに基づきながら方向性を示しながらも、各担当者に主体的に計画を立てさせることによって職員の経営参画意識は高まってくると考えます。また、各担当者が立てる計画の様式を統一するとともにそれを取りまとめ、河東中学校ならではの「指導計画Ⅰ」を作成されたいと考えます。